

第4回 π 造形若手会に参加して

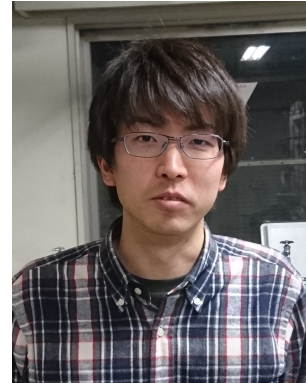
東京大学 森研究室 横森 創

略歴

2016年 信州大学 理学部化学科 卒業

2016年 東京大学大学院 理学系研究科化学専攻 入学

趣味：登山、スキー、睡眠



2016年12月15～16日に神奈川県横浜市にて開催された第4回 π 造形若手研究会に参加させていただきました。私は研究会への参加自体が今回初めてで、研究室紹介をするということもあり、少し緊張しながらの参加になりました。しかし、この研究会では楽しく有意義な時間を過ごすことができ、また様々な刺激を受けることができました。

スタッフの方々の講演では、もちろん研究に関する発表も大変勉強になりましたが、特に中野先生の「どうアウトを取るか」のお話は非常に印象深く残っています。このような現役の研究者の研究以外に関することについての意見や考え方を聴けることは若手研究会の醍醐味の一つのように感じました。

ポスター発表では、有機化学を中心に物理・錯体化学分野を専門とする方々も多く発表しておられました。私の所属している研究室では主に有機伝導体を扱っている一方で、自身の研究内容は金属錯体に関することであるため、どうしても両分野の詳細な部分がフォローしきれず、知識が広く(?)浅くなりがちでした。そうした中、自身と少し異なる分野を専攻する方々の発表をじっくり聴き、議論することで自身の研究内容をより多角的な視点でとらえることができるようになったと思います。

夕食や懇親会では、自身の研究と近い分野で最先端の研究をされている研究者の方々の話を聴くことができ(物理関係のお話であまり理解が追いつきませんでした)、大変勉強になるとともに、今後進学するにあたりさらなる精進が必要であることを再認識させていただきました。また、年齢・分野の近い方々とは、お互いの研究内容に加えて、どのような研究生活を送っているかなど、普段の学会とは違い時間に妥協することなく、ゆっくりと議論・お話することで、楽しみながら研究内容について理解を深めることができました。今回の π 造形若手会に参加でき、本当に幸運だったと思います。

最後に、このようなとても楽しく有意義な時間を過ごさせていただいたことを π 造形若手会の関係者の方々にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。